

べ議会だより つかい

第110号

2024年8月

かつての観光拠点「ふるさと交流館」は今後どうなる!?

特集

波乱の幕開け、「ふるさと交流館・新源泉の掘削工事費」に7人の委員が質疑を集中! ...	2
西別湿原やチカンバ群落、郷土資料館、別海中央小学校を現地視察 ...	3
ヒグマの目撃件数、令和4年から増加傾向に	4
水産系副産物処理 焼却と再資源化を併用	5
一般質問(田村、中村、伊勢、外山、高橋、吉田、小椋、横田、今西の9議員)	6
北海道町村議会議員研修会報告	10
定例会・臨時会のまとめ	11

シリーズ 町民に聞きました 行政の現場に活かしたい、町民の生の声 ...12



北海道別海町議会

波乱の幕開け、「ふるさと交流館・新源泉の掘削工事費」に7人の委員が質疑を集中！



全議員で構成する第1回予算決算審査特別委員会（田村委員長・貞宗副委員長）は、6月25日（第2回定例会6日目）に各会計補正予算の審査を行いました。

予算決算審査特別委員会とは
予算に盛り込まれた施策や事業の内容をしっかりと確認し、慎重かつ効率よく運営するため、各委員から事前に質疑を通告して審査する特別委員会です。

質疑が集中したのは、新規事業のふるさと交流館整備事業です。

本事業は、ふるさと交流館の新源泉井掘削工事と躯体コンクリート強度調査業務委託を予算計上したものです。

事業費は2億608万円で、財源内訳はふるさと応援基金2億600万円、一般財源8万円となっています。

質疑者は、伊勢委員、外山委員、小椋委員、中村委員、今西委員、市川委員、吉田委員の7名。

質疑を終えて

補正予算に反対する委員の討論、賛成する委員の討論があり、起立による採決が行われ、予算決算審査特別委員会では、起立多数で一般会計補正予算は可決されました。

予算決算審査特別委員会史上、同一議題に7人の質疑は初めてであり、「ふるさと別海町」を思う白熱した審議が行われた予算決算審査特別委員会でした。

なお、6月27日（定例会8日目）の本会議においても、起立多数で一般会計補正予算を原案どおり可決しました。

質疑・答弁の概要

Q 本事業に係る積算根拠は？

登録業者から参考見積りを徴し、公共工事単価などで町が積算。
○掘削工事費 1億9758万円
○躯体コンクリート強度調査費 850万円

Q 詳細な事業内容は？

現在の源泉は、老朽化による湧出停止の危険性を指摘されている。入浴を安定的に行うため、新源泉の掘削をする。
また、建物の強度を調査して、将来整備計画の判断材料とする。

Q 繰越明許費にした理由は？

掘削の許可申請が12月以降で、年度内工事完了は難しいと判断。

Q 当初予算ではなく6月補正にした理由と事業決定までの経緯は？

庁内検討会議や利用者アンケート調査の結果を補正予算に反映させた。

Q ふるさと交流館の今後の運営方針・計画に対する本事業の位置付けは？

周辺一帯を含めた整備構想や運用構想も検討して、誘客促進や経済効果へつなげる。具体的な将来構想がないのは、大きな反省材料。今後の方向性は、町民の声をしっかりと聞き、説明責任を果たす。

Q 源泉の枯渇状況、汲み上げ源泉ポンプの更新は？

いつ温泉が汲めなくなってもおかしくない状況で、ポンプは砂を噛むことにより、短期間での更新を余儀なくされる。

Q レストランと宿泊施設の今後の在り方は？

直営では限りがあり、民間への売却、一部委託、指定管理などの在り方も含め検討する。

総務文教常任委員会の活動報告

担当所管 総務部・教育委員会など 委員長 佐藤 初雄 副委員長 田村 秀男 委員 戸田 憲悦・吉田 和行・市川 聖母

西別湿原ヤチカンバ群落、 郷土資料館、別海中央小学校を視察

令和6年第1回定例会後に
取り組んだ調査は次のとおり
です。

- 第7次別海町総合計画につ
いて
- 公共施設跡地の利用計画に
ついて
- 地域おこし協力隊推進事業
について
- 地域住民の広域生活交通路
線の確保について
- ふるさと納税寄付金及び基
金の運用について
- 町内少年団活動及び学校部
活動の地域移行に係る対応
について

5月20日の委員会現地調査

① 西別湿原ヤチカンバ群
落、② 郷土資料館、③ 別海中
央小学校の3カ所を現地調
査、内容は次のとおりです。

① 西別湿原ヤチカンバ群落

国の天然記念物に指定され
るその希少性と生息地、観光
資源としての活用検討、老朽
化した看板の新設について、
戸田学芸員の説明を受けなが
ら、3地区にわたる西別湿原
ヤチカンバ群落を視察しまし
た。

現在、車を止めるスペース
がないため、観光資源として
の活用には総合的な計画、十
分な検討が必要と思われます。



看板設置を待つ西別湿原ヤチカンバ群落

② 郷土資料館

昭和56年旧西
別小学校を改築、築50年を経
過した建物は老朽化が著し
く、現在までに庁舎内検討会
議や教育委員会内で協議を重
ねているが、方向性が一向に
定まっていません。

重要な文化財、町の歴史な
ど郷土を知る学びの場として
の意味合いを考えても、早急
な計画の策定が必要だと考え
ます。

③ 別海中央小学校

別海中央
小中学校は一貫教育を推進し、
校舎一体型の義務教育学校を
目指し、令和11年度の開校を
予定しています。それまでの

5年間、子どもたちの学びを
保障するためにも今回の現地
視察は重要だったと思います。

近い将来、使わなくなるか
もしれない公共施設に、どこ
までの改修工事が必要なの
か、現場の意見を見聞きしな
がらの視察となりました。

今回の調査内容を今後の委
員会活動に活かし、引き続き
調査を進めていきます。

地域おこし協力隊推進事業

令和6年5月1日時点での
地域おこし協力隊員の着任状
況は、雇用型9名、委託型15
名の計24名。

多種多様な能力、人材が別
海町の魅力発掘、発信のため
に応募してくれています。

人数が増えてくると、管理
上の問題が出てくると思われ
るので、隊員の活躍に期待を
寄せながらも、しっかりと注
視していきます。

別海町ホームページで、地
域おこし協力隊の紹介もされ
ているので、町民の皆様もぜ
ひ興味を持ってご覧ください。



老朽化が著しい別海中央小学校

福祉医療常任委員会の活動報告

担当所管 福祉部・保健生活部・別海病院など 委員長 外山 浩司 副委員長 宮越 正人 委員 中村 忠士・小椋 哲也・高橋眞結美

ヒグマの目撃件数、 令和4年から増加傾向に

福祉医療常任委員会の調査対象は、これまでの町立別海病院と福祉部に加え、4月の機構改革により新設された保健生活部が調査対象となりました。

保健生活部の調査事項は、エゾシカやヒグマなどの鳥獣対策、国民健康保険、ゴミのリサイクル、墓地管理、自殺予防対策関係などを予定しています。

ヒグマ、エゾシカ 対策について

ヒグマの目撃件数は年々増加しており、令和3年までは50件台だったのが、令和4年81件、令和5年97件で、特に令和4年から大きく増え、今年は家畜被害が発生しました。

ヒグマの目撃があった場合は、現地確認を実施（場合によりハンター同行）の上、注意看板の設置、LINEによる周知を行っています。

駆除の最前線に立つハンターへの報酬は1日2000円～1万円で、今後金額の見直しが必要になると考えています。

エゾシカ対策では、春・秋駆除、走古丹・野付半島での囲いなどで、令和5年度は、約2500頭を駆除、捕獲しています。

囲いかなについては、目標頭数に届かず、年々捕獲実績が少なくなってきました。

このため、囲いかなの設置場所やわなの工夫など検討が必要となっています。

ファミリー・サポート センター事業

町内在住または町内に通勤している方で、子育てのお手伝いをしてほしい方（利用会員）と子育てのお手伝いができる方（協力会員）、または両方に登録して子育てサポートする有償の相互援助活動です。

料金は、30分単位で月々金曜日の9時から17時までが400円、それ以外の時間が500円です。

令和5年度は、預かりと送迎で570件の利用がありました。

放課後等デイサービス

障がい者放課後等デイサービス事業所が、別海町児童デイサービスセンター（役場隣）、こども広場ひかり（別海）、みっかな（上春別）の3施設があり、数十名の子どもたちが利用しています。

この施設では、障がい児が

日常生活での基本的な動作習得や、集団生活に適應することができるよう、適切な指導や訓練を行っています。

障がい児相談支援では、障害者相談支援事業として直営（福祉部）、委託（相談室）が、あくせす根室）で障がい者（児）に係る相談対応を行っています。

病児保育事業とは、病児期や病気回復期のために、保育園や学校などで集団生活が困難な時に、施設の専用スペースで看護師などが一時的にお子さんを預かる事業です。

令和5年度の利用件数は、延べ48件ありました。



子どもの完全送迎をしている「こども広場ひかり」

産業建設常任委員会の活動報告

担当所管 産業振興部・建設水道部など 委員長 今西 和雄 副委員長 横田 保江 委員 松原 政勝・貞宗 拓雄・伊勢 徹

水産系副産物処理 焼却と再資源化を併用

肥料原料の処理計画は、これまで(株)アシストで焼却してきましたが、水分量の問題があり、別な処理方法を模索し、新たに町内の事業者が再資源化による処分方法を確立しました。

今年度は焼却と再資源化を併用し、処分を進める計画です。現在ある肥料原料は来年度で処分終了の計画です。

なお、カドミウムを含んだホタテウロの処理については、今までどおり紋別市の処理場に運搬し、処分してもらうこととなっています。

将来的には町内で処分可能となるよう調査研究事業を今年度から行います。

ホタテウロの処理研究は、町内の事業者と特命随契約の形で契約、事業者が大学と連携し調査研究していきます。

り、新たに再資源化に取り組んでいる状況を調査していきます。

また、ホタテウロのカドミウム処理の調査研究経過についても、注視していきます。

ふるさと交流館について

利用者へのアンケート調査を実施、また、令和2年度に行ったアンケート調査も参考に、庁舎内に所管横断の検討会議を設置し、今後の方向性



ふるさと交流館の心臓部 源泉ポンプ施設

を議論、今年度内に方向性を示す予定です。

新源泉掘削工事などを6月定例会補正予算に計上。補正予算内容については、6月定例会の予算決算審査特別委員会です。詳しく説明があり、質疑が行われました。

具体的な予算も示され、庁舎内に設置された検討会議でふるさと交流館の方向性も議論されることから継続調査とします。

第7次別海町総合計画、令和6年度事業

産業振興部、建設水道部各所管より今年度事業内容の説明がありました。

継続・新規も含め、予算が執行され事業の展開状況を委員会として注視していきます。

町道等の整備および維持管理について

春を迎え、町道の損傷を調

査し、緊急を要する補修なども終え、砂利道路のグレーダーによる整備も随時行っていくと報告がありました。

1千キロメートルにもおよぶ町道の維持管理状況を注視していきます。



路肩の草刈も進み整備された町道

その他

- 各所管、新年度を迎え、担当職員の異動があり紹介。
- 令和5年度除雪実績が報告され、出動日数・経費ともに昨年度を上回った。
- 予算執行額は2億1800万円。
- 新たに酪農工場の現況を所管事務調査に加えた。



議員9人による一般質問

質問 合葬墓に花立てなどを 用意できないのか？



田村秀男議員

質問 合葬墓は、べつかい

霊園内にあり、令和3年4月1日から使用を開始している。

1800体の焼骨を埋蔵でき、建立から3年間で何体の焼骨が埋蔵されたのか。

答弁 供用開始から令和6年3月末までの3年間合計で、93体が埋蔵されている。

そのうち30体が、改葬により埋蔵されている。

質問 納骨後は自由に参拝できるが、参拝者自身がその都度、花立てなどを持参しなければならず、利便性が良くないので、管理事務所などに用意できないのか。

答弁 合葬墓は、無宗教施設なので、すべての宗教に対応することはできない。

町民の利便性の向上を図るため、一般的と考えられる花立てや線香立てなどを、貸し出し用として配置する。

質問 合葬墓の近くに利用上の注意事項などの立て看板を設置して、環境衛生上好ましくない「お供え物の持ち帰り」などを周知しては。

また、利用方法は霊園内の案内立て看板と表記を統一しては。

答弁 利用の手引きは、ホームページで周知している。

現地を確認して、霊園内の案内の立て看板と統一した表記になるように、訂正・修正を行い、周知の足りない点については、立て看板などを設置していく。

質問 子ども意見表明権、 意見の尊重をどう具体化するか



中村忠士議員

質問 子ども権利条約に日本は1994年批准した。条約には子どもの意見の尊重など4つの原則が示されている。

本町は「こども未来議会」を実施していた。子どもの意見表明権、尊重される権利が発揮できる取り組みを続ける必要があると思うが、どうか。

答弁 より多くの子どもたちの意見が尊重され、それが政策などに反映されるような機会を設けたいと考えている。

質問 「こども未来議会」という形にこだわらず、どのような形が望ましいか、検討している。

質問 学校の校則や制服に

ついて、本町では子どもたちが意見を自由に述べ、尊重されることになっているか。

答弁 町内のある中学校では、生徒会を中心に制服や校則について、子どもたちが意見を述べる場を設けている。

また、別の中学校でも、制服などについて、保護者と検討の場を設け、子どもたちの意見がより広範に尊重されるような取り組みが行われている。

先生方の働き方について

質問 先生方の長時間勤務は改善されていない。それとの関係で聞く。本町の先生方の定年前退職は何人か。

答弁 令和2年度は退職者15名中定年前7名、3年度は10名中4名、4年度は10名中3名、5年度は12名中9名で、若い方の退職が増えている。



詳細はこちらからご覧になれます

議員9人による一般質問

質問 別海町の今後のヒグマ対策について



伊勢 徹議員

質問 中春別で子牛を襲った個体への、町の今後の対策は。

答弁 根室および釧路振興局から、捕獲に関するアドバイスを受けながら、現場対応としては、箱わな設置による捕獲を継続する。

今後、箱わなも増やしていく。

質問 管内3町が取り組んでいるヒグマの春期管理捕獲支援事業への参加予定は。

答弁 猟友会と前向きに、参加に向けて協議を進めている。

質問 ヒグマ対策に関する今後の取り組み方針を見直す考えがあるか。

答弁 追い払いを基本とす

るが、繰り返しの出没、人畜被害の恐れがあると判断した場合は、適切に駆除していく。

質問 本町における、ヒグマに対応が可能な猟友会員数および過去3年間の出動実績は。

答弁 本町の猟友会会員数は78名で、うち28名がヒグマ対応可能。

出動実績は過去3年間で2件。捕獲頭数は2頭。

質問 地域おこし協力隊員を募集して、専門職員（ガバメントハンター）として採用する構想はあるか。

答弁 近年、増加しているヒグマ目撃状況から、緊急に出動しなければならぬ場面も想定されている。

そのため、有害鳥獣対策の一つとして、地域おこし協力隊や、狩猟免許を持った職員の採用を検討する。

質問 西春別駅前診療所と尾岱沼診療所の将来は



外山浩司議員

質問 医師の退職が続いてきたが、確保に向け、どのような働きかけをしてきたか。

答弁 札幌医大をはじめ、関係機関に定期的に理事者が訪問し、現場の説明と要請を行ってきた。

質問 西春別駅前診療所と尾岱沼診療所の現状と、将来の考えは。

答弁 欠かすことのできない施設である。

質問 理事者と医師との交流や話し合いも大切だと思うが、考えは。

答弁 コロナ前は、医良同友などを通じての交流や町長

室での話し合いをしていた。

お互いの腹を割った話し合いの機会を設けていきたい。

中学生の不登校、卒業式欠席生徒の対応は

質問 卒業式を欠席した中学3年生の人数と卒業証書の授与方法は。

答弁 11名で、2名がオンラインで参加。

卒業証書は、式終了後や、後日に体育館や校長室で学校長から手渡ししている。

質問 不登校生徒や卒業式欠席児童の捉え方については。

答弁 どの児童生徒にも起こりうることで、単なるまめかけや問題行動ではない。

卒業式欠席の選択も、生徒自らの意思で決定することは重要だと捉え、その姿勢を尊重していく。



議員9人による一般質問

質問 公共施設案内看板 設置の整備を！



高橋眞結美議員

入口案内看板設置の計画は。

答弁 建設当初から設置の計画はなかった。

現在見直しの総合計画の中で、当センターのみならず、全町的に案内看板の設置の検討を進めていきたい。

質問 全町的な公共施設の案内看板整備を。

設置場所のチェックリストやユニバーサルデザイン、別海町らしいデザインなどを統一し、一元化した維持管理の計画が必要では。

答弁 町民だけでなく、観光客の動線もイメージし、ユニバーサルデザインの視点、別海町らしいものを設置したい。

現在見直し中の総合計画に基づいた整備方針を固め、しかるべき時期に常任委員会などを通じて、進捗報告をしていく。

質問 続・日本海溝および千島海溝型 地震における地震対策は



吉田和行議員

質問 平成6年10月4日の東方沖地震での水産業の被害状況は。

答弁 水産業の断水については、当時の資料に記録がなく定かではない。

質問 水産業における非常用電源の位置付け、必要性、確保対策や整備の状況は。

答弁 平成21年野付漁港、平成30年ブラックアウト後に別海漁港荷捌所、水産物保管施設に各一台整備している。

町有施設のニシン種育苗生産センター、ウニ種育苗成センターは非常用自家発電機を備えている。

酪農業とは位置付け、必要

性が異なるものと考えてことから、すべての漁業者の状況は把握していない。

質問 酪農用水を汲みあげるエンジンポンプの導入状況について、各農協の導入台数、今後の導入計画は。

答弁 道東あさひ農協24台、中春別農協10台。

今後も各農協で導入を計画していることを確認済み。

計根別農協については、今年度中に検討していきたいと確認している。

質問 エンジンポンプ利用方法についての協議、実施訓練の計画は。

答弁 使用訓練については、秋頃に別海消防署、各農協と連携して実施予定。

取水方法、取水箇所などの具体的な内容は、訓練を通して中で協議を進めていく。



詳細はこちらからご覧になれます

議員9人による一般質問

質問

カーボンニュートラルの実現に向けて



小椋哲也議員

質問 昨年3月に行った「ゼロカーボンシティ宣言」により、2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指すこととなった。

まずは、現在の本町の炭素排出状況を把握する必要があると考えるが。

答弁 今年度、地域おこし協力隊推進事業を活用して、高い専門知識を有するゼロカーボン推進担当を確保した。

本町の脱炭素の「現在地」を把握することが、第一歩であると考え、調査と分析を進める。

必要に応じて研究機関や外部専門家との連携も必要となる。

り、予算を伴う事業も必要であることから、調査・分析は来年度の終了を目指している。

質問 調査・分析の結果は公開するのか。

町民や事業者を対象とした研修会などを実施するか。

答弁 カーボンニュートラルの実現には、町民や事業者との連携が欠かせないと考えている。

必要に応じて各種媒体を活用して外部と共有していく。研修会などについても共有の手段として非常に有効と考える。

質問 今後の取り組みの要となる「別海町地域温暖化対策実行計画」の今後の扱いは。

答弁 現在は役場という事業所の計画となっているが、今後は脱炭素の「現在地」を含め、地域全体の計画として見直し運用していく。

質問

高齢者の難聴に対する対策は



横田保江議員

質問 令和4年第3回定例会で、中村議員が「軽度、中等度の難聴者へのケアと助成について」の質問をした。

高齢者の難聴についての調査は、別海町高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定作業の中で、介護予防・日常生活圏域二ズ調査などを行うとのことだったが、調査結果の分析は。

答弁 介護予防・日常生活圏域二ズ調査から、65歳以上の高齢者566名からの回答があった。

一般高齢者で「耳が遠くなったと感じることがある」と回答した方が、約50%。

この中で補聴器などを付けている方は約7%となっている。

質問 補聴器購入助成制度をする自治体が増えている。近隣では弟子屈町で導入している。本町の検討状況は。

答弁 現時点では、町独自の助成制度などは考えていない。

質問 高齢者の加齢による聞こえづらさの問題は、人それぞれ程度や感覚が違う。補聴器を付けるまでではないが、聞こえづらさに問題を感じているなど、住民サービスの窓口で不便を感じている人もいる。

その対応の一つとして、『軟骨伝導イヤホン』がある。町民サービスの充実を図るべきでは。

答弁 来訪者の負担軽減にもつながるため、利用の多い窓口に設置することを検討する。



議員9人による一般質問

質問 町民の一声一声に 耳を傾け町政運営を



今西和雄議員

質問 これからの4年間、町政を担う決意と意気込みは。

答弁 2期8年、町内全域に光回線の敷設、高齢者の皆さんが安心して暮らせる環境整備、子育て環境の充実に努めてきた。

また、寄付金受入額130億円のふるさと納税制度への取り組みを通じ、活気ある街づくりと、町のプロモーションにも力を注いだ。

しかしながら、少子高齢化による人口減少は進んでおり、さまざまな課題がある。

町民の皆様と行政が一体となり、進めていく必要がある。

質問 順調にふるさと納税が

伸びており、今後の活用方法は。

答弁 将来に向け、安定した財政運営を得るための財政調整基金確保は、3期目町政を担う大きな使命。

また、各種基金として積み立てていくと同時に、将来に向け、有効な投資にも活用していく考えだ。

質問 各層の町民とのコミュニケーションを図り、その一声一声に耳を傾け、町政運営に当たるべきでは。

答弁 2期目の4年間は、コロナ禍の中にあり、ほとんど町民との対話ができない状況であった。

今後は積極的に各地域に出向き、町民の一声一声を大事に、町政運営を担っていく。

3期目4年間のその動きこそが、次世代に繋がる礎と考えており、今一度決意し、しっかりと行政運営に取り組んでいく。

北海道町村議会議員研修会

7月2日 札幌市コンベンションセンター



全道から約1500名の町村議員が集結し、別海町議会からは、1・2期生の8名が出席、大いに盛り上がりを見せたひとときとなりました。

テレビでもお馴染みの人気気象予報士・森朗氏から「札幌が東京より暑くなる!?」加速する気候変動〜、ご自身を平成の政治家と名乗る元衆議院議長・大島理森氏からは、「人口減少と市町村の重要性・民主主義に

ついて自省を含めての所感」をお話いただきました。

2日目は自主研修を企画し、「観光で、北海道の未来を拓く」と題して、35年にわたり北海道庁で北海道の開発や、観光振興に大変ご尽力された北海道科学大学教授の木本先生に熱い講演をしていただきました。

わが町の観光の明るい未来に繋がる大きなヒントになるお話がたくさんあり、参加した議員全員がとても強い希望と明るい未来を考える有意義な時間を過ごすことができました。

今回の研修から学んだことを、今後の議会活動にもぜひ取り入れていきたいと思う研修会でした。



定例会・臨時会のまとめ

令和6年第2回定例会結果報告
**いよいよ動き出す?!
 ふるさと交流館の
 これからの展開に注目!**

第2回定例会の概要

6月20日に招集され、会期を6月27日までの8日間に決定。

1日目 6月20日

町長から行政報告、議会運営委員会の報告と行政執行方針、教育行政執行方針、副町長から提出案件の概要説明など。

町長からの行政報告

- ヒグマによる家畜被害とその後の状況報告
- 産業の動向報告
- 尾岱沼潮干狩りフェスティバルに5日間で1810人が来場
- 建設工事など発注状況報告
- 議案などの内容説明
- 条例の一部改正4件
- 工事請負契約の締結6件
- 財産の取得2件

- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定

- 北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更

- あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更(編入)

- 令和5年度繰越明許費等の繰越計算書の報告2件

- 専決処分報告
次の議案を予算決算審査特別委員会に付託。

- 令和6年度各会計補正予算3件

- 24日目 6月21~23日
本会議を休会。

- 5日目 6月24日
本会議を再開し、6名の議員が一般質問に登壇。

- 6日目 6月25日
3名の議員が一般質問に登壇。

- 本会議を休会し、予算決算

審査特別委員会と広報・広聴常任委員会を開催。

予算決算に関する主な質疑

- 域内循環拠点維持・確保緊急対策事業／積算根拠・内訳などについて(中村委員)

- こども誰でも通園制度推進事業／事業目的・委託内容などについて(中村委員)

- エゾシカ被害対策事業／価格改訂の理由について(伊勢委員)

- 沿岸漁業振興対策事業／積算根拠・上限額について(吉田委員)

- ふるさと交流館整備事業／事業内容などについて(伊勢委員・他6名)

- 河崎秋子氏町民栄誉賞受賞記念講演会事業／公演委託料の根拠について(外山委員)

- 7日目 6月26日
本会議を休会し、総務文教常任委員会、福祉医療常任委員会、産業建設常任委員会を開催。

- 河崎秋子氏町民栄誉賞受賞記念講演会事業／公演委託料の根拠について

- 河崎秋子氏町民栄誉賞受賞記念講演会事業／公演委託料の根拠について

- 河崎秋子氏町民栄誉賞受賞記念講演会事業／公演委託料の根拠について

- 河崎秋子氏町民栄誉賞受賞記念講演会事業／公演委託料の根拠について

- 河崎秋子氏町民栄誉賞受賞記念講演会事業／公演委託料の根拠について

8日目 6月27日

特別委員会に付託した議案の審査結果の報告と、各議案の討論・採決の結果、一般会計補正予算は賛成多数で可決。その他議案は全会一致で可決。

議員発議の次の2件についても討論・採決の結果、全会一致で可決。

- ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

- 根室海峡海域におけるロシア連邦トロール漁船に関する意見書

- 根室海峡海域におけるロシア連邦トロール漁船に関する意見書

第2回臨時会の概要

5月17日に開催され、

- 別海町税条例の一部を改正する条例の制定について

- 町立別海病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- 専決処分した事件の承認について

- 専決処分した事件の承認について

行政の現場に活かしたい、町民の生の声

ふるさと交流館の今後の運営について、宿泊事業者マグハウスの前田ご夫妻に、期待することや求める役割などについてお聞きしました。



広報委員 ふるさと交流館に宿泊施設などは、あった方がいいと思いますか。

ご夫妻 別海町には、泊まる所が少なく、スポーツ合宿の誘致も行えなくなりました。

ビジネスや観光での利用も含めて、年間を通して地域でのベッド数が足りていない現状です。

ふるさと交流館を含めて、目的に応じた宿泊施設は必要だと感じています。

広報委員 ふるさと交流館は、どのような施設になればいいと思いますか。

ご夫妻 マグハウスはビジネスでの長期滞在や、スポーツ合宿での利用が多いです。

なので、例えばご飯は毎日食べ飽きない家庭的な食事が求められています。

しかし、観光客の方は、別海町ならではの特別な食事が喜ばれます。

このような差別化が必要な部分も含めて、施設の特色を出して欲しいですね。

広報委員 マグハウスに泊っている方は、ふるさと交流館の温泉に行くことはありますか。

ご夫妻 温泉を利用する方もいますが、移動手段がないので、自転車を貸したり、車で送ったりしています。

広報委員 ふるさと交流館に宿泊が復活したとしても、市街地への移動手段を何とかしないと駄目ですね。

ご夫妻 そつですね。ワンボックスカーで十分ですから、30分おきに市街地を循環するバスがあると便利そうですね。

施設利用者だけでなく、他の観光客や町民も自由に利用できると、利便性だけでなく、いろんな交流も生まれるかもしれませんね。

ふるさと交流館の役割の見直しをきっかけに、市街地全体の活性化ができるといいですね。

令和6年9月定例会の予定

9月9日(月) 10時～

1日目 本会議(議案説明・質疑など)

9月10日(火) 10時～

2日目 本会議(一般質問)

9月11日(水) 10時～

3日目 本会議(一般質問)

9月12日(木) 10時～

4日目 常任委員会

9月13日(金) 10時～

5日目 本会議(議案の討論・採決など)

※議事の内容は、変更することがありますので、議会ホームページをご確認されるか、議会事務局までお問い合わせください。

**一般質問の傍聴に
きてみませんか?**

議会の会議は、誰でも傍聴できますが、体調不良の方は傍聴をご遠慮いただく場合がありますのでご了承ください。



道議長の自治功労者を表彰

多年にわたり、議会議員として議会制度の高揚と地域の振興および住民福祉の向上、地方自治の発展に寄与してきたことが認められ、道議長の自治功労者として、中村議員と松原議員が25年以上の勤続で表彰されました。

熱中症予防！ 睡眠 栄養 こまめな水分補給を！